

ロータリーの友

ロータリーの友5月号 第69巻 第5号
令和3年5月1日発行(毎月1回1日発行) 通巻820号
昭和28年1月創刊 昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

Rotary

5

2021
MAY

VOL.69 NO.5

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

青少年奉仕月間
あなたのエールで輝く若人

侃侃諤諤⑦
新型コロナ体験
得たこと 失ったこと

Rotary 

特集 青少年奉仕月間

あなたのエールで 輝く若人





乳幼児健診で離乳食指導を行う

グローバル補助金奨学生

川合 菜月 (かわい なつき)

1994年生まれ。大分県出身。2018—19年度ロータリー財団のグローバル補助金奨学生としてイギリス・ウェストミンスター大学院で国際公衆栄養学を専攻。現在、国際医療NGO・ジャパンハートカンボジアが運営する小児病棟で栄養管理部マネジャーを務める。



みんなと一緒に笑顔の食事 食が与える幸福の力

「家族と一緒においしい食事を取り、笑い、おなかいっぱい眠りに就く」。そんな世界共通の幸せを実現すべく、味覚も食文化も異なるカンボジアの医療センターで、子どもたちのために奮闘する若き栄養士を紹介します。

大学生時代、多くの国際活動に参加されていますね？

学部時代は東南アジアやアフリカを中心にボランティアやインターンシップに参加しました。きっかけは大学1年生の夏休みにインドのボランティア・ツアーでスラムの子どもたちと交流したことです。それまで貧しい、かわいそうというイメージを抱いていましたが、子どもたちは想像していたよりもとても明るくキラキラとしていたのが印象的でした。道端に家族や友達と座ってみんなが笑顔で食事をしていたことが忘れられません。食が人々に与える幸福は、国や環境が違って同じだと感じました。これをきっかけとして、私は途上国の栄養課題に目を向けるようになりました。

この課題に対する答えを探すため、ベトナム、セネガルなど世界各国で活動し、途上国の栄養状態改善には、知識だけでなく包括的な視点、彼らを取り巻く多様な要因への対処能力が必要と実感しました。

そのような途上国の栄養課題について専門的に学べる大学院は当時は国内にはなく、海外でも数校だけ。途上国の栄養改善に特化し、現場経験を持つ教授が多い、ウェストミンスター大学院への進学の道を選びました。

専攻の国際公衆栄養学とはどのような学問ですか？

国際公衆栄養学は、英語で「Global Public Health Nutrition」といい、公衆衛生の視点で栄養課題を解決する学問、といえます。日本で栄養というと病院や医療の分野が扱うという印象が強いですが、公衆栄養学は社

会学寄りの視点からの研究となります。地域の栄養状態が悪い要因は何なのか？ 地理や農業、衛生環境などを総合的に分析し、国際機関や政府と連携して解決に導いていく分野です。

ロンドンでロータリーとの関わりはありましたか？

ウェストミンスター・インターナショナルRCの方々はとても温かく迎え入れてくれました。留学中は、同じくグローバル奨学金で留学している世界各国の友人と出会えました。彼らは「重点分野」のいずれかを専門とし、国籍や専門分野は違えど、「世界を良くしたい」という共通の思いを胸に、イギリスで勉強に励んだ仲間です。そんな人たちと出会えたことは、私の人生の中で本当に大きな財産になりました。

大学院で専門知識を身に付けた後の目標は何でしたか？

子どもと寄り添って働きたいと思いました。農村部で暮らしながら現地語を習得して、現地の人と同じ目線で課題に向き合っていきたい。そんな思いが強くなったのです。

また、公衆栄養学はデータを扱い、数値を見て「介入効果があった」「死亡率が減った」と、ある意味機械的に分析・評価する学問でもあります。ただ、数字の裏にはそれぞれの子どもの成長があり、それを見守って一喜一憂する家族の姿もある。ロンドンで勉強しながら、そんな「顔」を見ないまま大きな事業の評価を進めることに、疑問を感じるようになっていたのです。

現在所属されている国際医療NGO・ジャパンハートでのお仕事についてお聞かせください

カンボジアの首都プノンペンから約1時間のカンダール州に「ジャパンハートこども医療センター」がありま

医療設備はもちろん、高度な医療が必要な小児がん。日本では適切な治療で約8割が助かるといわれるが、カンボジアでは2割程度にとどまる。高額な治療費が払えず命を失っていく子どもたちも多かったが、病院の設置により、約半数の子どもたちが回復し、退院していく



す。そこで栄養管理部マネジャーとして、6人のカンボジア人スタッフと共に、小児がん患者への給食提供、栄養管理や衛生指導などを行っています。

当院は、患者に無償で治療を提供しており、これまで多くの子どもたちの命を救ってきました。

カンボジアと日本では状況が大きく異なりそうですね

カンボジアには給食を提供する病院はほとんどありません。国内に栄養について理解している人は少なく、栄養士がいない国ですから、栄養事業を立ち上げること自体が難しく、栄養とは何か、なぜ病院に必要なのか、を分かってもらうまでに時間がかかります。これは現地の方だけでなく一緒に働くスタッフも同様です。スタッフの平均年齢は私より8歳ほど上。加えて現場で日本人は私一人。しかもスタッフは一人を除いて現地の言葉(クメール語)しか話せないため、私が言葉を覚えながらマネジャーとしての役割を果たそうとしています。

患者の皆さんは私のことを「ごはんの先生」と呼んでいます。栄養のことを、「元気に過ごすパワーをくれるごはん」と説明すると、理解してくれました。そのような状況の中、カンボジアにない「栄養」の概念を軸とする活動を軌道に乗せるべく奮闘中です。

現地で感じることは何ですか？

私たちは医療団体として関わりますが、食事や栄養と

いうものは国の文化や習慣から切り離せません。海が少なく湖を囲むカンボジアは、タンパク源として淡水魚を多く摂取し、その臭みを消すために多種多様なハーブを使用して独特の味付けに仕上げます。住民の多くが第1次産業に従事し、盛んな米産業から、白米中心の食事形態を作っています。地理や歴史、その国の文化が作り上げた食事概念を、外部から来た私たちが全て理解するのは難しい側面があります。拙速に「こっちの食材が栄養面で適している」「そのやり方はよくない」と介入することは好ましくありません。

既存の食文化、現地の衛生環境にどれだけ配慮しながら私たちが考える適切な栄養管理に近づけていくのか。それには、この国に対する深い理解と尊敬の念を持つことが大切だと感じています。現状としてあるものを変えるのではなく、共に働く現地スタッフと信頼関係を構築し、共同で新たな方向性を作り、歩んでいく姿勢を持つことを、日々意識していく必要があると思っています。

活動はボーダーレスでありつつも、現地を尊重すべき部分も重要だと。支援の可能性はより広がっていますか？

国境を越えて自由に働ける時代である今、日本では10くらいしか役に立たないことが、カンボジアだと100、アフリカだと1,000かもしれない。夢を追い掛け、勉強できる環境に生まれた全ての人たちが、自分の能力



左 子どもたちと一緒に笑顔あふれるフィリピン滞在時。
バックパッカー時代は世界を2周し52カ国を訪れた
右 留学先の大学院で初めてのプレゼンテーション。デンマーク、ヨルダン出身のクラスメートと力を合わせて、高い評価をもらった



ガンビア共和国で見たチーター



その国への理解と尊敬の念を持つこと。変えるのではなく、現地の人に寄り添い共同で新たな方向性を作る姿勢を大事にしたい

を生き、世界中の、目に見えにくい場所の弱者に寄り添う支援に関われる世の中になってほしいです。

最後に、川合さんの今後のビジョンを語ってください

誰の目も届いていない地域に赴くのが私の役目です。一人でも多くの子どもを

栄養失調から救い、おなかをすかせている子どもや、子どもを亡くして悲しむ人がこれ以上増えることのないように。

私は、マザー・テレサの言葉「Go home and love your family (家に帰って家族を愛しなさい)」が好きです。最下層で暮らすインドの子どもたちが、家族と一緒に食事をしている時の笑顔はずっと忘れられません。人として成功の単位は収入や地位かもしれないけれど、幸せの最小単位は、愛や笑顔など数字で表せないもの。そんな家族の愛や子どもの笑顔を守るために、これからも栄養を通じて、大学1年生の夏休みに交流した時のような、当たり前前の幸せを保っていきける社会をつくらせたいです。

バックパッカーなつきの こんなところがカンボジア

多彩なハーブでおしゃれ料理

給食センターには毎日たくさんのハーブが届きます。見たこともない草や、それ食べられるの？と思う花まで。淡水魚、アヒル、カエルはハーブと合わせておいしく調理できますよ。

虫や爬虫類も大切なタンパク源

アリやイナゴ、タランチュラ、ヘビやカエルなど、日本では見慣れない食材も市場に並んでいます。どれも大切なタンパク源としてカンボジアの食卓で親しまれています。

風の強い日、あちこちで、たこが揚がる

乾期の終わり頃、心地良い風が吹く時期があります。そんな時あちこちでたこの露店が出現。子どもたちがたこを持って走り回るのはカンボジアの風物詩。懐かしくなるような光景です。

「長崎は今日も雨だった」が人気曲

カラオケの時、歌って！とお願いされるのは「長崎は今日も雨だった」。カンボジアでアレンジされているそうで、みんな知っています。日本人として「知らない」では済まされません。平成生まれですが、特訓中です！

Annotation

*重点分野 ローターでは「平和構築と紛争予防」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「地域社会の経済発展」「環境」の分野に重点を置いた活動が推奨されています。ロータリー財団グローバル補助金を活用する際は、この重点分野の少なくとも一つに一致した活動である必要があります。